

平成 25 年 9 月 1 日

TOEFL ITP®受験案内

TOEFL ITP®は、TOEFL®テスト作成元である Educational Testing Service (ETS) が提供する、団体向けテストプログラムです。

平成 25 年より、学習院大学では、日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF) にアソシエイト・パートナーシップ登録をし、それに伴い、同機関が定期的を開催している TOEFL ITP®に、本学の学生が参加できることとなりました。

1. TOEFL ITP®とは

- ・ TOEFL PBT® (ペーパー版 TOEFL®) の過去問題で構成されています。
- ・ TOEFL iBT® (インターネット版 TOEFL®) を受験した場合の取得スコアの目安となります。
- ・ TOEFL iBT® に比べて、受験料が安価です (約 1/6)。

2. テストの内容

試験問題	時間・問題数	試験内容
Section 1 Listening Comprehension	35 分・50 問	北米で話されている標準的な英語を理解する力を測定する。
Section 2 Structure and Written Expression	25 分・40 問	標準的な書き言葉の表現や文法の知識を測定する。
Section 3 Reading Comprehension	55 分・50 問	英語圏の大学の授業で使用されるような文章を用いて、読解力を測定する。
合計 約 115 分・140 問		

※スコアのスケールは 310 点～677 点

3. 試験日時・試験会場

日時：平成 25 年 10 月 5 日 (土) 10:00～12:30 頃

会場：JSAF 高田馬場オフィス

4. 定員

10 名程度 (先着順)

5. 受験資格

学習院大学の学生

6. 受験料

3,800 円 (税込) ※支払いについては「7. 申込方法」を参照のこと

7. 申込方法

1) 国際交流センターに申込書を提出して下さい。

なお、夏季休業期間につき、eメールでの申込みを受け付けます。eメールで申し込む場合は、①メールの件名を「10/5 TOEFL ITP 申込」として、②申込書を添付し、③メールの本文に氏名と学籍番号、所属学科／専攻を必ず明記して、送信して下さい。

申込書提出先

窓口での申込：中央教育研究棟 2階

e メールによる申込：cie-off@gakushuin.ac.jp

※受信の確認メールを返信しますが、休日等の関係で遅れる場合があります。着順は、当センターのメールボックスの受信日時により決定します。

申込書提出期限

平成 25 年 9 月 11 日（水）16:30

- 2) 申込み後、個別に受験料の振込先をお伝えしますので、受験料を振り込んで下さい。
受験料の振込みがないと、申込みが完了しませんので注意して下さい。

振込み期限

平成 25 年 9 月 12 日（木）当日扱い分まで

8. 試験の結果通知

試験実施日から約 2 週間ほどで、スコアレポートが自宅に届きます。

9. その他

- ・申込み後、集合時間、試験場、受験上の注意、持参物等について、詳細を記した確認書をお渡しします。
- ・試験当日、遅刻すると、入室できないことがあります。
- ・一旦納入された受験料は原則として返金できません。
- ・受験者が 9 名以下の場合、実施しないことがありますのでご了承下さい。この場合、受験料は返金されます。
- ・申込書に記載された個人情報は、TOEFL ITP®実施に関して利用します。それ以外の目的で利用、提供することはありません。また、テスト結果を第三者に公表することはありません。

10. 今後の実施予定

JSAF では、この他、平成 25 年 11 月 30 日（土）、平成 26 年 2 月 14 日（金）にも、TOEFL ITP®を実施します（同じく 10:00～12:30 を予定）。これらの日程で受験を希望する方は、各ひと月前までに、個人で詳細を JSAF に問い合わせして下さい。（問い合わせの際は、必ず、アソシエイト・パートナーである学習院大学の学生であることを申し出て下さい）

日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF)

03-5287-2941 <http://www.japanstudyabroad.org/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-4-15 三井生命高田馬場ビル 1F

日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF) とは：

JSAF は、米国ワシントン州非営利教育財団の学部留学部門で、日本の学生を対象にした海外有名提携大学への学部留学プログラムを、日本で初めて制度化した団体です。現在までに 300 名以上の OB/OG がこのプログラムを利用し、帰国後、日本の大学で単位認定を受けて、各種分野への就職や大学院への進学を果たしています。